

# 若狭湾水中散歩

京大水産 実験所 益田 玲爾

16

## イシダイ

「イシダイしまごろう」

という本がある。水族館で芸を披露するイシダイと飼育係のおじさん、しまごろうを取り巻く海の環境などについてやさしく書かれた名著だ。作中のしまごろうが例外的に賢いわけではなく、イシダイは比較的簡単に芸を憶える。

そこで舞鶴周辺の海で

慣らして、学習能力について調べてみた。まず針

金で輪を作り、その先に

書かれた名著だ。作中

のしまごろうが例外的に

賢いわけではなく、イシ

ダイは比較的簡単に芸を

憶える。

夏の始めの頃、流れ藻

の中を注意深くさぐれ

ては食うようになる。

## 学習能力の高い体長5セン

餌を置くようにすると、ば、一晩に満たないイシダイを見つけられる。この輪をぐるぎりの芸を習得するまでの日数を、いろいろ。海水浴のシーズンに

いるな発育段階のイシダイで比較すると、体長一メートルではあまり学習せ

ばよく、また十分に成長

すれば鋭い歯で何でも噛

み割ることができる。浮

遊生活から沿岸の岩場へ

と生活環境が大きく変わ

った。

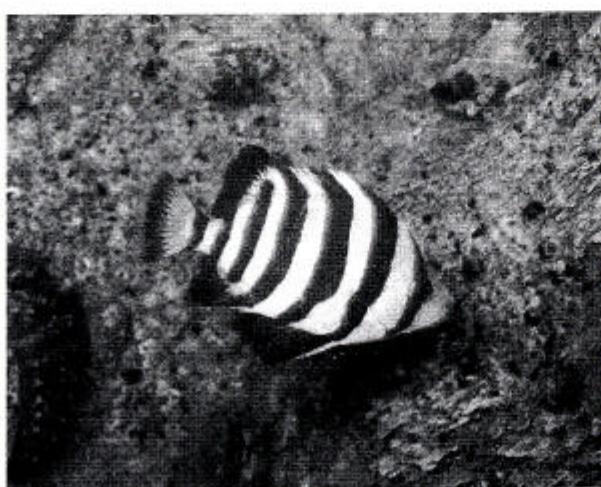
彼らも十五センチを越えれば

ニッパーのような歯でウ

ニやカニをぱりぱり割つ

ては食うようになる。

上がる前に海水浴場で見かけたイシダイに心魅かれたのが海に興味を持つきっかけであったと思ふ。小学生の頃は前述の妙に感情移入してしまう「しまごろう」を夢中にうかれし哀しい。



小橋の水深50センチで撮影されたイシダイ  
稚魚。体長3センチ